

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292000112		
法人名	株式会社 ビジュアルビジョン		
事業所名	けあビジョンホーム旭		
所在地	旭市仁王2090-1		
自己評価作成日	令和4年11月2日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員も利用者様も笑顔で仲良く、みんなが家族の様に過ごしています。男性と女性の区別に関係なく、出来る事をして頂き、利用者様同士が助け合って生活されています

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	令和4年11月19日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「けあビジョンホーム旭」は、田園風景が広がる自然に恵まれた環境の中にあるグループホームである。施設内はバリアフリー環境が整備されており、エレベーターが設置されている。また、入浴支援においても機械浴も使用可能となっており、入居者の身体機能に配慮した造りとなっている。重度化・終末期における施設の方針を明文化しており、入居者・家族への意向確認や同意も得ている。医師や訪問看護師と24時間連絡が可能となっており、重度化した場合や終末期支援に向け、連携体制を構築している。看取り支援の実績があり、必要機関との連携や経験を活かした柔軟な対応に努める等、入居者・家族から安心と納得が得られた終末期支援につなげている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼・昼礼にて理念の唱和を行い、週1回の同法人のホーム全体朝礼にて、スピリットの講話ををしている。	「家族を超える愛情で、人生の最後を包み込み、世界中の人々の幸せに貢献する」という理念を掲げ、事務所設内に掲示し、全職員が理念を意識したケアの実践に取り組んでいる。また、朝礼や昼礼時の唱和を通して、理念や方針の確認を行っていると共に、代表講話や会議等で、全職員で意識共有を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍の為、中々できていないが、地域の溝清掃に参加した。	法人が地域貢献を掲げており、近隣住民と挨拶を交わす関係が築かれていると共に、職員が地域の溝掃除に参加する等、地域との繋がりを大切にしている。現在はコロナ禍の為、地域との交流や地域行事への参加は中止している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	出来ていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の為、資料配布のみになっている。	運営推進会議は地域包括支援センター職員・地域住民・入居者家族・法人幹部等が出席し、2ヶ月に1回開催している。会議では、施設の活動報告や意見・情報交換を行い、施設の理解促進及びサービスの質の向上に繋げている。現在コロナ禍の為、書面における会議を実施しながら、定期的な開催を継続している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	月1回、市役所へ報告に行っている。また、メールにて連絡を取り合っている。月2回、コロナ関連の勉強会に参加している。	日頃から市に対して、業務における相談や報告を行っていると共に、運営推進会議等にて、意見・情報交換を行う等、連携を図っている。現在コロナ禍の為、市や地域事業所とは、電話・FAX・メールで情報共有を行っている。	

【千葉県】 けあビジョンホーム旭

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを掲げている。鍵の施錠は、夜間以外は一切していません。	身体拘束排除におけるマニュアルが整備されていると共に、法人開催のzoomによる内部研修も実施しており、全職員が身体拘束排除における意義を理解している。また定期的に検討委員会を開催しており、適切な支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明を行い、理解されているかの確認を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン同意確認時にや面会時に意見を聞き、連絡ノートに記載している。昼礼等に職員に伝えている。	家族の来訪時や電話連絡・運営推進会議等を通じて、意見や要望等を確認している。挙げた意見や要望においては、会議等を活用し、全職員で共有を図る等、適切な支援に繋げている。現在、コロナ禍の為、ガラス越しやベランダでの面会となっているが、電話・手紙・メール等を活用し、意見や要望を確認している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の朝礼や中礼時に意見を聞き、ケアに反映させている。カンファレンスを定期的に行い意見を集め反映させている。	定期的な会議を開催し、職員からの意見や情報等を確認している。また、意向調査や個人面談を実施する等、職員の思いや要望を聞く機会を確保している。勤務についても、希望休の受け入れや有休休暇の付与等、働きやすい就業環境の整備に取り組んでいる。その他、職員の休憩時間や場所の確保を積極的に行う等、疲労やストレスに配慮している。	職員アンケートより、業務内容に対して人員不足や人間関係に不満を訴えている声が挙がっている。今後、人員に合わせた業務内容の見直しを行い、人材の安定化を図ると共に、職員の思いや要望を聞く機会を確保し、良好な職場環境の整備に努めていただくことを望みます。

【千葉県】 けあビジョンホーム旭

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回、目標管理ノートを活用し、面接を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月研修を行っているが、外部研修への参加は行っていない。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	出来ていない。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアマネージャーが、本人から聞き取りをし、サービス計画書に挙げている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入職時に家族様と面談し、希望を聞き安心して頂ける様、お話しさせていただいている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学に来られた時に、グループホームについて説明を行い、入居となっている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物をたたんだり、料理をする等、一緒にできる事をして頂いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何かあれば、すぐに家族様に連絡し、報告している。		

【千葉県】 けあビジョンホーム旭

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お友達が訪ねて来られる事もあります。	希望に応じて、知人・友人・家族の面会を受け入れており、相互の馴染みの関係を大切にしている。また、希望に応じて、個別または少人数の外出を支援しており、馴染みの場所での楽しみを提供している。現在はコロナ禍の為、家族以外の来訪は中止しているが、散歩やドライブ及び家族との外出は感染対策を講じながら行う等、馴染みの人や場所との関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	プリントや塗り絵等教え合ったり、“トイレはここだよ”お互い聞き合っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今のところありません。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人に何をしたいのか、聞き取りをいたします。	入居前に、本人・家族から意向・生活歴・身体状況の確認を行うと共に、医療機関や他事業所から情報を把握している。また、日頃から生活の観察や会話等から意向や思いを汲み取っている。意向や思いについては、職員間で意見や情報交換を行い、入居者本位のサービス提供に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネージャーが聞き取りをし、アセスメントシートを作成している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録を記入し、ファイルしている。		

【千葉県】 けあビジョンホーム旭

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を開催し、施設サービス計画書を作成している。	本人・家族の意向や医師・看護師等の意見を基に会議で話し合い、介護計画を作成している。また、定期的に目標の達成状況の確認や評価を実施し、必要に応じて見直しを行っており、入居者の生活や身体状況に応じた介護計画の作成に努めている。介護計画は法人の専門職員によるチェック機能が整備されており、適切な介護計画の作成に繋げている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に記入し、昼礼で申し送りをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族様が受診対応を行っている。病院に行けない家族様の場合は、施設側で受診を支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	笑顔が見られる生活を送れるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族様に契約して頂いて、病院とはメールやFAXにて連絡している。	家族と協力しながら希望の掛かりつけ医への受診を支援すると共に、定期及び必要時に内科や歯科の往診も実施しており、適切な医療支援に繋げている。訪問看護師による日頃の健康管理や医療機関との連携を通して、適切な看護支援を行っている。提携病院とは、緊急時・急変時において、24時間体制で協力が得られるよう連携を図っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回訪看さんに相談している。		

【千葉県】 けあビジョンホーム旭

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された時も退院時も契約病院に情報提供事項を書いて頂いている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り実施に向け、看取りの研修を行っている。	重度化・終末期における施設の方針を明文化しており、入居者・家族への意向確認や同意も得ている。重度化・終末期においては、医師と24時間連絡が可能となっており、重度化した場合や終末期支援に向け、連携体制を構築している。施設開設以来、看取り支援実績があり、必要機関との連携や経験を活かした柔軟な対応に努めており、入居者・家族からも安心と納得が得られている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	出来ていない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	出来ていない。	スプリンクラー・自動通報器・火災報知器等の消防設備を設置していると共に、年1回の自主訓練及び設備点検を行っている。今年度は12月に消防署立会いの夜間想定難訓練を実施する予定となっている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ひとり一人に合った言葉遣いをする。	接遇やプライバシー保護については、法人による内部研修や会議で指導している。職員については入職時に誓約書を交わしていると共に、会議やマニュアルを活用して、職員への理解促進に努めている。声掛けや言葉使いに細心の注意を払いながら柔軟に対応し、その人らしい生活に向けた支援を実施している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お手伝いがしたいとか、お茶が飲みたいとか、希望を言ったりしている。また、美容師さんにも要望を伝えている。		

【千葉県】 けあビジョンホーム旭

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決まりごとはないので、今日は何をしたいか聞いて、皆で楽しめるようなレクリエーションを取り入れている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で居室に戻って着替えたり、髪のカットも本人の希望通りにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	包丁を使って切って頂いたり、ホットプレートで焼いて頂いたり、小皿に分けたり・盛り付けする等、出来る事をして頂いている。	食事の準備・調理については、職員が行っているが、下膳等の片付けについては、共同で行っている。献立作成及び食材については、業者を活用し、管理栄養士監修による栄養バランスに配慮した食事提供が行われている。食事は、食べやすさに配慮し、入居者の嚥下機能に応じた食形態で提供されている。現在、コロナ禍の為、外食会は中止しているが、行事食の提供・手作りおやつ・テイクアウト等は引き続き実施しており、食に対する楽しみを支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量を記入し、声掛けしながら摂取できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは毎食後、声掛けしていただいている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表をみて、声掛けをしながらトイレでの排泄が出来るようにしている。	排泄チェックリスト表や記録シート等を活用しながら個々の排泄パターンを把握した上で、声掛けやトイレ誘導を行い、自立に向けた支援に努めている。また、水分摂取の励行・乳製品の活用・日常的な運動の実施等を通じて、便秘予防に努めている。必要に応じて、看護職員や医師に相談しながら、適切な排便コントロールを行っている。	

【千葉県】 けあビジョンホーム旭

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食に牛乳・納豆等を取り入れている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一応曜日は決めている。本人が今日は嫌と言えば、次の日に声がけをしたり、午後から入浴をして頂いたりしている。	定期的に入浴を実施していると共に、状況に応じて、清拭・部分浴・シャワー浴を実施する等、入居者の清潔保持に努めている。また、機械浴も設置しており、身体状況に応じて、安心・安全で快適な入浴ができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	テレビを見て過ごして頂き、ご本人様自ら居室に戻って休まれるよう、見守っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師と連携を取り、相談も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	つきの誕生日会やおやつのリクリエーションで楽しめたり、塗り絵等の作品を壁に飾ったりしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ過でなかなか外出はできないが、病院受診やマッサージに家族様と外出している。	日頃から、散歩やドライブ等を通して、戸外での楽しみを支援している。現在コロナ禍の為、外出行事は見合わせているが、感染対策を講じながら近隣の神社への初詣や少人数での買い物等を行っている。また、家族との外出は希望に応じて対応している。その他にも、施設内でのレクリエーションを通して、入居者の生活の活性化を図っている。	

【千葉県】 けあビジョンホーム旭

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は基本、施設でお預かりしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族様からの電話では直接お話をして頂き、電話をかけたいと言われれば、電話をかけて差し上げる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁に塗り絵等を飾ったり、みんなの製作した作品を掲示している。	施設内はバリアフリー環境が整っており、入居者の安全面に配慮した設計となっている。施設の共有スペースには、椅子・テーブル・ベンチ等が設置されており、自由にくつろげる環境整備がなされている。また、施設内には、季節の飾り付け・入居者の作品等が掲載されており、楽しい雰囲気作りがなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気が合う同士が隣に座れる様に席を考えている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際、本人様の使用していた布団等、お気に入りの物を持ち込んで頂いている。	入居者・家族の希望に応じて、馴染みの物を自由に持ち込む事が可能となっており、居心地良く生活できるよう配慮している。また、テレビ・ポータブルトイレの設置や布団を敷く事も可能となっており、生活歴に合わせた居室作りがなされている。鍵・収納が設置されており、プライバシーの確保がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室に名前が書いてあるので、自分の部屋であると認識している。		